



高校卒業後の進路選択について

子どもと一緒に話す時間をつくっていますか？

「将来、できれば子どもに地元で暮らしてほしい」そんなふうに考えている高校生の保護者の方も多いのではないのでしょうか。この冊子をきっかけに、進路選択について子どもと考えてみませんか。

進路・将来のこと

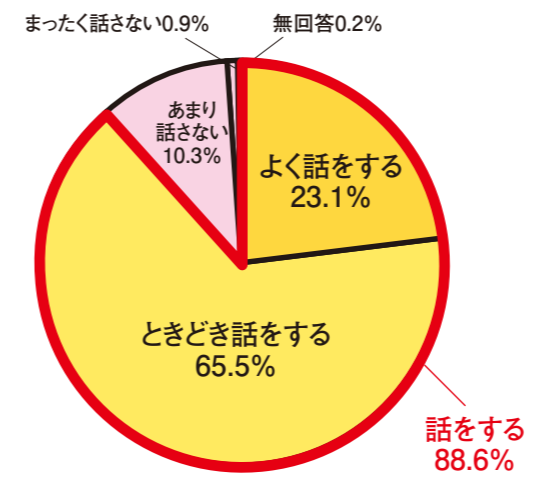
子どもにとって、将来の生活や就職を考える上で、保護者（親、家族）は一番影響力のある存在です。でも、大学での学業や学生生活、または就職状況や仕事内容について、当の大人たちも詳しいわけではありませぬ。子どもにとって良い進路選択・良い就職とは何でしょうか？

全国の高校2年生の保護者を対象にした意識調査によると、子どもと

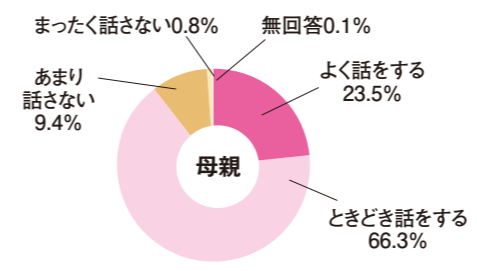
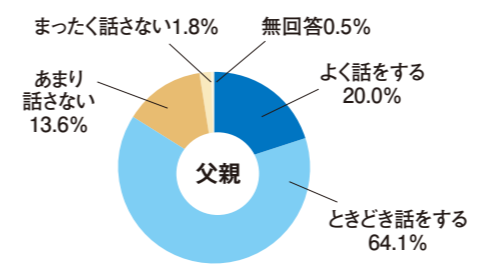
進路について「話をしている」と回答した人が約9割。一方、保護者の約7割が子どもに進路選択のアドバイスをするのは「難しい」と感じています。

他の家庭では子どもにどんな言葉を掛けているのか、子どもは誰に相談したのかなど、リサーチ結果をまとめました。

保護者に聞きました 進路についての話を子どもとしていますか？



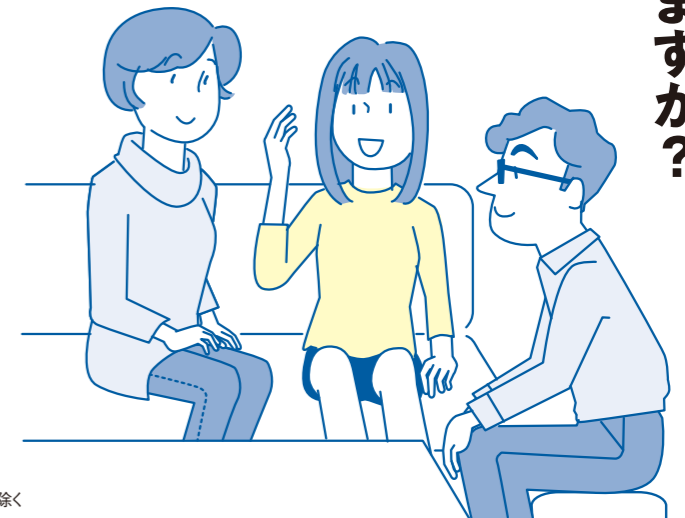
続柄別で見ると…



子どもと進路の話をするときによく使う言葉は？

- 1 自分の好きな事をしなさい、やりたい事をやりなさい 56%
- 2 自分でよく考えなさい 50%
- 3 資格取得を目指しなさい 33%
- 4 自分で決めなさい 29%
- 5 勉強しなさい 28%

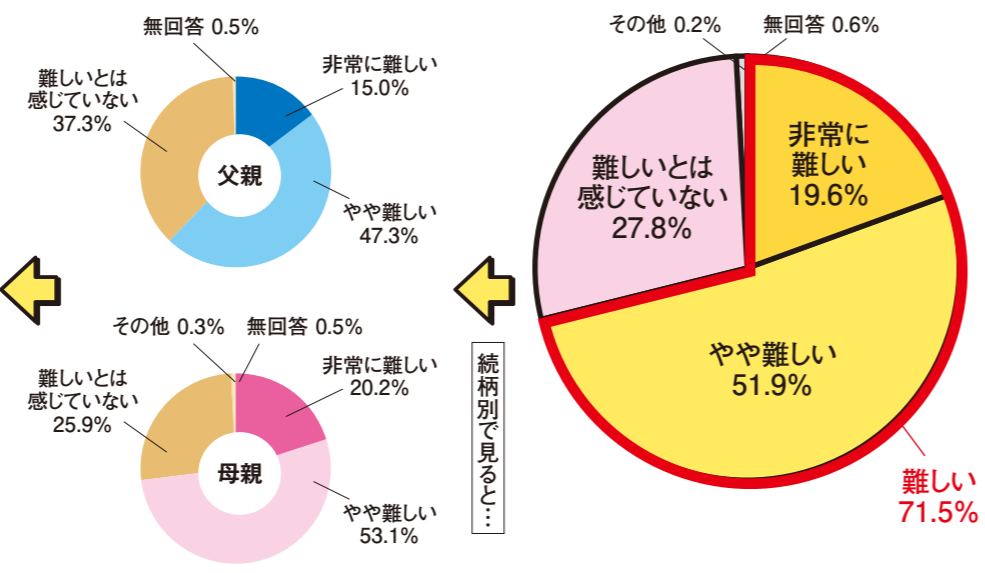
調査対象：全国の高校2年生の保護者 有効回答数1,722人 ※全問無回答11人を除く
第8回「高校生と保護者の進路に関する意識調査」2017年
一般社団法人全国高等学校PTA連合会・(株)リクルートマーケティングパートナーズ調べ



子どもの進路選択について アドバイスが難しい理由は？

- (アドバイスが「難しい」回答者 / 複数回答)
- 1 入試制度をはじめ最新の進路情報を知らないから 46%
 - 2 社会がどのようになっていくのか予測がつかないから 44%
 - 3 家庭の経済的な理由で、子どもの進路の選択肢を狭めざるを得ないから 25%
 - 4 子どもにアドバイスできる程、自分の生き方・考え方に自信がないから 22%
 - 5 子どもの人生を決めてしまうようなアドバイスするのは気が引けるから 21%

保護者に聞きました 子どもの進路選択について アドバイスすることは難しいですか？



父親、母親、担任の先生に相談

先輩に聞きました！ 高校2年生の頃、卒業後の進路について誰に相談をしていましたか？

大学の夏休みを利用して浜松市役所にインターンシップに来ていた大学3年生の男女に聞きました。

大学3年・女子（西遠女子高校卒）
大学進学にはお金がかかる！ 出資者である両親の理解が必要だと考えて、大学卒業後の就職も含めて両親に相談しました。
私が選択した「情報社会学科」は、情報に関する知識だけでなく社会学の視点にも触れられ、就職してからも有益な知識になりそうで満足しています。



母親に相談

大学3年・男子（袋井高校卒）
一番身近な社会人であり最も相談しやすい存在なので、母親に相談していました。
進学した大学は、学生数が少なく教授との距離が近いのが特徴で、授業や就職の相談に積極的に乗ってくれるのが良いと感じています。

担任の先生に相談

大学3年・男子（宮城県出身）
大学に関する知識が豊富な担任の先生に相談していた。現状に大きな不満はないが、もし現役の高校生に戻れるとしたら、経済学部や社会学部など専門的な知識を得られる学部を選ぶと思う。その方が希望の就職に有利だと、今感じている。